

島嶼研シンポジウム

鹿児島で北東

このたび、北東アジアの国際関係と地域秩序（セッション1）と島嶼・海域問題の国際比較（セッション2）をテーマとしたシンポジウムを開催する運びとなりました。鹿児島は、いわゆる本土の最南端に位置し、東シナ海や太平洋に開かれた「ゲートウェイ」ともいえる地です。このような鹿児島の歩みを思いながら、この地で北東アジアの地域としての未来に向けた議論を行いたいと思います。

プログラム

13:00 開場・受付

13:30 挨拶／河合 溪（鹿児島大学国際島嶼教育研究センター）

岩下 明裕（北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター）

セッション1「北東アジアの国際関係：歴史、理論、比較」13:40～15:40

13:40 「北東アジア冷戦構造の変容と朝鮮半島」金 成浩（琉球大学）

14:00 「北東アジアの安全保障秩序：

米中関係と米同盟ネットワークの相互作用」佐橋 亮（東京大学）

14:20 「地域対話におけるモンゴルの役割：欧州の経験から」宮脇 昇（立命館大学）

14:40 コメント／尾崎 孝宏（鹿児島大学法文学部） 益尾 知佐子（九州大学）

15:00 討論

15:40 休憩

セッション2「島と海：アジアと欧州の比較」16:00～18:00

16:00 「分断の島キプロス：紛争と統合の狭間」伊藤 頌文（慶応大学）

16:20 「鹿児島と琉球のはざま・奄美」平井 一臣（鹿児島大学）

16:40 「竹島／独島の属島と化される鬱陵島」福原 裕二（島根県立大学）

17:00 コメント／上原 良子（フェリス学院大学） 堀江 典生（富山大学）

17:20 討論

18:00 閉会

日時：2019年12月21日（土）13時30分～18時 事前登録不要・参加無料

会場：鹿児島大学連合農学研究科棟3階会議室（鹿児島市郡元1-21-24）

※当日は奄美市で視聴可能／中継：鹿児島大学国際島嶼教育研究センター奄美分室
（奄美市名瀬港町15-1 奄美群島大島紬会館6階）

主催：鹿児島大学国際島嶼教育研究センター

共催：人間文化研究機構ネットワーク型基幹研究プロジェクト

「北東アジア地域研究推進事業」北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター拠点

後援：Association for Borderlands Studies (Japan Chapter)

お問合せ：鹿児島大学国際島嶼教育研究センター

〒890-8580 鹿児島市郡元1-21-24

電話：099-285-7394 Fax：099-285-6197

E-mail: shimaken@cpi.kagoshima-u.ac.jp



北東
ア
ジ
ア
を
考
え
る